

山寺通信 2月号

お茶を楽しむ道具は、高級な物から手ごろなものまで色々あります。日本のお茶文化は、陶器や木製品、金属製品の職人を養成してさらに創意工夫により使い易い物を作り出してきました。いつの時代も人々の生活リズムに合わせたものが作られています。ただこれらも売る側の積極的な提示がなければ、茶の奥行を感じてもらえません。現在日常の中に埋没しているお茶の楽しみを味だけでなく色々な角度から眺めてみると消費者に売れるものが見えてきます。消費者には、色々な生活製品に囲まれています。強い意志での提案が必要です。

白岩大祐の急須の世界 一個ずつが皆違う (表示は外径 cm)



SD-02-1 ¥26,500 木箱 9/H9cm



SD-02-2 ¥20,000 木箱 10/H7.2



SD-02-3 ¥26,500 木箱 9.5/7.5

薩摩彫錫茶筒 (近日発予定 金 SACHO-001 ¥9500) (銀 SACH-002) 285g 以上サイズ 6/H8.5cm (煎茶 50g)



1



密封性
ステンレス茶筒
軽量良



2



3



4



- 1 薩摩彫金茶筒 金、銀 6/H8.5cm 金¥9500 銀¥9000
- 2 ステンレス 16S-001 ¥1800 560ml (煎茶 220g)
- 3 ステンレス艶消し 16S-002 ¥2000 400ml (煎茶 150g)
- 4 茶葉が充分開く平型急須 左茶碗一杯分
- 5 ステンF網急須 ¥1600 リーズナブルな焼き締め
- 6 一人用フィルターイン 300ml (袋準備しています) ¥1800 SFD-G SFD-R 有田焼茶碗
- 7 携帯バッグ クロロプレンゴム 色黒、緑ホック付

入荷 3月予定 00¥500



5



6



7